

# 議会だより



パパと一緒に入所式！  
猪苗代保育所



リュウキンカ（立金花）  
花言葉「必ず来る幸福」

## 平成 27 年 3 月定例会・臨時会

◆あらかし・議案審議	2
◆予算審査特別委員会	4
◆議員提出議案・委員会提出議案・臨時会	5
◆一般質問 11 人が登壇	6
◆委員会レポート	17
◆町民の声	18

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地

<http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

あらまし

平成27年第1回定例会は3月2日から3月12日まで開催されました。

町長から提出された議案は専決処分の報告4件、平成26年度補正予算10件、平成27年度予算13件、条例の制定4件、条例の一部改正19件、条例の廃止1件、指定管理者の指定4件、工事請負契約の一部変更1件、工事請負契約の締結1件であり、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問は11名の議員により2日間にわたり行われました。ほかに、委員会提出議案2件、委員提出議案1件が提出されました。

【一般会計予算の概要】

『歳入』

活用し、対前年比48・3％増にあたる3億8000万円の増額計上。

町税

景気の回復基調の波及傾向があることから、個人・法人ともに若干の増額計上。固定資産税は評価替えの時期であることと徴収実績を勘案し減額計上。町税全体においては対前年比1・5％減にあたる約2800万円の減額。

『歳出』

人が輝くまちづくり「少子化対策の充実」

出産手当の対象・金額の大幅見直し、子育て世帯臨時特例給付金事業、子ども子育て支援給付事業など鋭意実施する。

地方交付税

国の地方財政計画等により、前年度比で約3・5％増にあたる約9600万円の増額。

町債

過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債を

事業を実施。

未来が輝くまちづくり

生活バス、デマンド型乗合タクシー委託事業、桜ヶ丘住宅の長寿命化事業、社会保障・税番号制度システム改修・整備事業、社会基盤整備として道の駅整備事業を実施。

東日本大震災からの復旧・復興、風評被害対策

採草放牧地除染更新事業、風評被害対策事業、防災行政無線更新事業、消防ポンプ車購入事業を実施する。

【主な質疑・討論】

《地域福祉交流センター条例》

問 所長及び必要な職員を置くとのあるが内容は。

答 所管課長が所長を兼務し、担当職員がその業務にあたることを予定。

問 入居は公募によるのか。

答 六角合同事務所に入居している団体が最優先に入居するため、新たに公募の予定はない。

第1子から支給

問 《緑の村施設条例の一部改正条例》観覧料値上げの基礎となるものは。

答 指定管理者が変わることにより展示内容が充実されるため引き上げる。

反対討論！

【五十嵐ミエ子 議員】

子ども連れや家族でおいでになる方が多く、料金を上げず今までどおりとして欲しいことから反対。

《介護保険条例の一部を改正する条例》

反対討論！

【五十嵐ミエ子 議員】

介護給付費の増加分を高年齢者の保険料負担に転嫁することとは限界では。値上げに納得がいらず反対。

《(仮称)川西認定こども園地中熱ヒートポンプ冷暖房システム導入工事請負契約》

問

答 役場で同じような工事をしたが、土質、水温等の違いは。地層的にも変わりはない。90m位から地下の熱をくみ上げ、温度的には平均14・7度の熱採取である。

《平成26年度一般会計補正予算》

反対討論！

【五十嵐ミエ子 議員】

道の駅事業について、町民の税金を使う事業は、正確な見通しのうえで予算化され執行されなければならない。納得がいらず反対。

《平成27年度一般会計予算》

反対討論！

【佐瀬 真 議員】

道の駅事業をすすめることによって中学校統合、改修工事がどんどん遅れていく。道の駅の予算が入っており反対。

【五十嵐ミエ子 議員】

財政危機のもとで税金の使い方を大型事業優先ではなく、町民の暮らしの向上を優先して財政の健全化を両立させるべき観点から反対。

【佐藤 悦夫 議員】

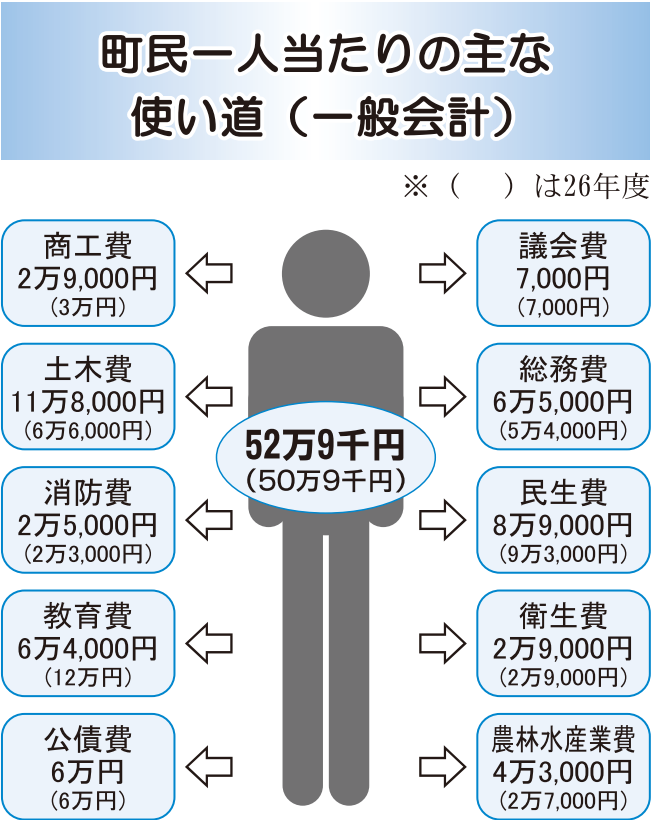
未来の人々につけを残すことになるような道の駅の多額の予算と、職員の人件費が入っているため反対。

【審議した議案と可決状況】

件名	1 佐瀬 真	2 細貝 功人	3 佐藤 悦夫	4 佐藤 英一郎	5 長澤 操	6 金本 久美子	7 渡辺 真一郎	8 五十嵐ミエ子	9 後藤 公男	10 渡部 博幸	11 山田 長平	12 関沢 和人	13 鈴木 武喜	14 穴沢 進	15 佐藤 光幸	16 長沼 一夫	結果
平成26年度猪苗代町一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	-	可決
平成27年度猪苗代町一般会計予算	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	-	可決
平成27年度猪苗代町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	／	○	-	可決
教育長の服務に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	／	○	-	可決
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	／	○	-	可決
猪苗代町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
猪苗代町緑の村施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
猪苗代町保育料条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
猪苗代町公立幼稚園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
猪苗代町こども園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
猪苗代町保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
猪苗代町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
(仮称)川西認定こども園建設(建築主体)工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	-	可決
(仮称)川西認定こども園地中熱ヒートポンプ冷暖房システム導入工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	可決
猪苗代町議会議員定数条例の一部を改正する条例	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	-	否決
猪苗代町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	-	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、退席「／」、議長は採決に加わらない。





予算審査特別委員会

議長を除く15名の委員で、平成26年度補正予算10件、平成27年度予算13件を審査しました。

平成26年度一般会計補正予算

【主な質疑】

《歳入》

《町税》

問 入湯税現年課税分300万円は何人分で、宿泊増によるものか。

答 今年末で23万3千人程度の見込みで、中ノ沢温泉には除染作業員の方々の分が入っている。相対的には前年度よりも増えており、対象施設は54軒で、一人あたりの入湯税は150円である。

《県支出金》

問 総務費補助金の市町村生活交通対策補助金の454万円の減額の要因は。

答 乗車率が下がったのが一番の要因であるが、今まで乗車率を確保するために町が買い支えをしていたが、今年度から町の買い支えを乗車率に認めないという県の考えで補助金が

減額となった。今後も乗車率は減少すると考えられる。

《繰入費》

問 財政調整基金1200万円繰り出し後の残高は。

答 繰り戻し後の残高は、4億9570万5千円である。

《歳出》

《総務費》

問 企画費の委託料の増額はデマンド型乗合タクシー運行業務の増額分とあるが、その内容は。

答 年々利用者数が増加している状況で当初の予定より多く要望があり、それらに対応するために増額したが、運行を委託しているタクシー会社としては現在の運行が目一杯であるので、できる範囲で維持していきたいと考える。

問 道の駅整備事業費の工事請負費請差分9000万円減の要因は。

答 敷地造成工事の工法が見積時と発注時で異なったためと、転石等の対応も若干変えたことにより減額となったもので、契約等の変更はない。

問 公有財産購入費39万9千円の減は用地取得代金の不要額であるが、用地取得額は。

答 一般会計からの支出は3筆375

5万5200円で、土地開発基金からは5筆で、8122万6800円となっている。

《教育費》

問 認定こども園整備事業費の工事請負費3877万2千円増額と財源について。

答 機械室建設工事・厨房機器設置工事費の増額と建築主体工事の減額分となっている。国庫支出金は、当初1億7160万円を予定していたが、決定額は1億41万円となった。

平成27年度予算

一般会計

《歳入》

《使用料及び手数料》

問 町設住宅使用料の大幅増の理由は。

答 川桁の定住住宅は平成25年度は被災された方が入居していたこともあり、平成27年度は当初より満杯の状態で予算を計上した。

《歳出》

《民生費》

問 社会福祉費の臨時福祉交付金が昨年度に比べて少ない理由は。

あらまし

平成27年第2回臨時会は3月26日開催され、すべて原案のとおり可決しました。

【主な質疑】

《平成26年度補正予算》

問 プレミアム商品券発行事業、プレミアムアップ事業の内容は。

答 商品券を5月と11月に1万2千円分を1万円で販売予定。プレミアムアップ事業は、18歳以下の児童については1万2千円分を8千円で販売。対象となる児童の世帯については通知し全員が購入できる本数を確保したい。

問 空き工場活用補助金とは。

答 町が誘致した工場で稼動していない物件があり、それらの活用を促すために活用いただける事業主に改修費の一部を助成する。

問 海外向けパンフレット作成等委託補助金の内容は。

答 いなわしろ天のつぶの海外展開のために英語版とイタリア語版を作成。

問 地域資源を活用した観光振興事業補助金の内容は。

答 町内の観光施設をめぐるスタンプラリー事業と、自転車を活用した街中周遊事業を検討している。

反対討論！

【五十嵐三子議員】

緊急にやらなければならないことは子育て支援の経済的な支援であり反対。

臨時会  
(3月26日)

地方創生にかかる地域活性化事業始動

【委員会提出議案】

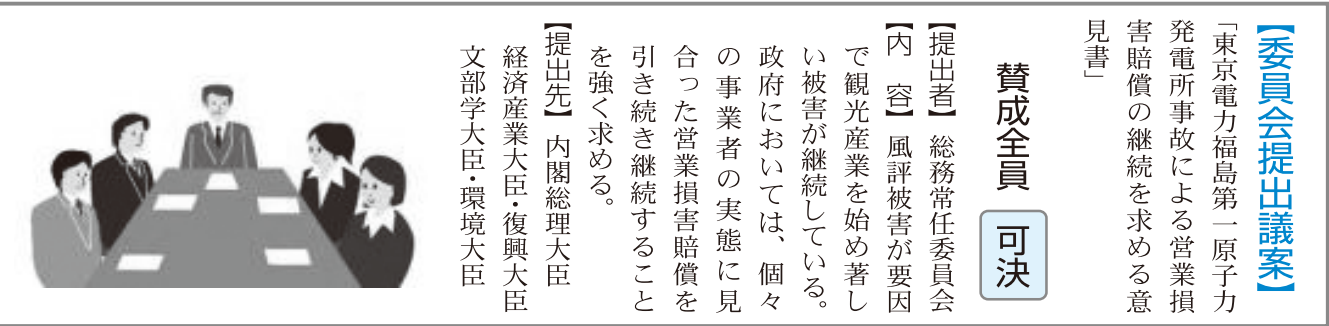
「東京電力福島第一原子力発電所事故による営業損害賠償の継続を求める意見書」

賛成全員 可決

【提出者】 総務常任委員会

【内容】 風評被害が要因で観光産業を始め著しい被害が継続している。政府においては、個々の事業者の実態に見合った営業損害賠償を引き続き継続することを強く求める。

【提出先】 内閣総理大臣  
経済産業大臣・復興大臣  
文部学大臣・環境大臣



議論

【佐藤 英二郎議員】

2名減により委員会のある方も含め、議会の機能に大きく影響する。削減に反対。

【佐瀬 真議員】

議会活性化のために若い人を入れなければならぬ。そのためには報酬を上げなければならぬ。定数削減と報酬の引き上げをセットで考えるべき。

反対

賛成

【後藤 公男議員】

定数は人口を考慮しなくてはならない。削減し、さらに議員の意識を高め力をあわせて議員活動にあたるべき。

賛成

議員定数削減

賛成少数 否決

【議員提出議案】

「猪苗代町議会議員定数条例の一部を改正する条例」

【改正内容】 議員数を2名削減し、14名とする。

【提出者】 関沢 和人議員

【賛成者】 後藤 公男議員・金本久美子 議員

関沢 和人議員ほか2名より、議員定数を2名削減する条例改正案が提出され、賛成5人・反対10人で否決となりました。

【長澤 操議員】

年代、職業など幅広い層からの政治参加が望まれる。単なる定数削減ではなく、総合的に考えていくことが重要である。

【五十嵐三子議員】

議員削減により、住民とのパイプ役が薄くなり町民参加のまちづくりが実現しなくなる。

件名	1 佐瀬 真	2 細貝 功人	3 佐藤 悦夫	4 佐藤 英二郎	5 長澤 操	6 金本久美子	7 渡辺 真一郎	8 五十嵐三子	9 後藤 公男	10 渡部 博幸	11 山田 長平	12 関沢 和人	13 鈴木 武喜	14 穴沢 進	15 佐藤 光幸	16 長沼 一夫	結果
平成26年度猪苗代町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	-	可決
道の駅敷地造成工事請負契約の一部変更について	○	○	×	○	○	欠	○	×	○	○	欠	×	○	○	○	-	可決
(仮称)川西認定こども園建設(建築主体)工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	欠	×	○	○	○	-	可決
(仮称)川西認定こども園建設(電気設備)工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	欠	×	○	○	○	-	可決
(仮称)川西認定こども園建設(機械設備)工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	欠	×	○	○	○	-	可決
(仮称)川西認定こども園地中熱ヒートポンプ冷暖房システム導入工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	欠	×	○	○	○	-	可決

※賛成は「○」、反対は「×」、届出欠席は「欠」、議長は採決に加わらない。

答 平成26年度は一人当たり1万円の他、老齢福祉年金の方は2千円の加算があったが、平成27年度は一人当たり6千円で加算額はない。

問 子育て世帯臨時特例給付金の内容と対象者は。

答 平成26年度は児童一人当たり1万円であったが、平成27年度は3千円で、児童手当の対象者であるのほば昨年同様で見込んでいる。

問 道の駅整備事業費、工事請負費8億739万7千円の内容は。

答 地域振興施設建築工事は2年にわたり行い平成27年度は8ⅹ9割を目指す。国のプロジェクト交付金との調整がっていないので、予算の範囲での執行となる。その後敷地造成等土木工事を発注、下水道接続工事はJＲの線下の工事である。

農業集落排水事業特別会計

問 分担金100万円増額の要因は。

答 山潟地区内の接続10戸及び湖岸地区が11戸、他地区が1戸で合わせて22戸を見込んでいる。



長澤 操 議員

Q. 川西認定こども園の開園時期は  
A. 平成28年4月に開園



平成27年度の予算編成は

【長澤】特徴・特色・重点項目は何か。

【答弁】メインは道の駅整備事業で約9億円の大型プロジェクトである。出産手当の増額と対象を拡大し、子育て世帯臨時給付事業・臨時福祉給付金事業を引き続き実施する。

【長澤】高齢化・少子化の中での取り組み、考えは。

【答弁】国の地方創生法のもと、地方総合戦略を策定、実施していく経費を計上。内容的には若者定住、子育て支援、仕事の創生を盛り込む。

【長澤】川西認定こども園のスケジュールは。

【答弁】平成27年11月までに、園舎建設工事・付帯工事をすべて完了し、その後備品の整備とともに県に認定申請し平成28年4月に開園となる。

【長澤】道の駅スケジュールは。

【答弁】平成27年度は地域振興施設の8割程度、駐車場部分の敷地造成工事、公共下水の接続工事でJR横断部のみを先行して行う。

【長澤】法改正により介護認定制度に変更はあるか。

【答弁】認定そのものに変更はないが事業計画を策定し、地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」を構築し支援に努める。

【長澤】介護施設の職員の待遇改善は。

【答弁】地域密着型の事業のみ指導監督の権限がある。介護職員の処遇改善については国・県に機会あるごとに要望をしたい。

【長澤】経済的弱者への修学支援の実態と考えは。

【答弁】児童生徒には、要保護・準要保護の支援があり、給食費・修学旅行費等の修学援助を行っている。高校や大学の各種の奨学金制度があり相談いただきたい。

【長澤】学校施設の環境整備等の主なものは何か。

【答弁】翁島小の排水工事、吾妻小の外壁、水漏れ補修、東中の外部の木部塗装が主である。

【長澤】平成27年度教育方針・特色は。

【答弁】学力向上、生徒指導の充実と心の教育、基礎体力の充実と競技力の向上等に重点をおき、学校・家庭・教育委員会が一体となり取り組むたい。

観光振興とデスティネーションキャンペーンの取組みは

【長澤】デスティネーションキャンペーンへの対応は。

【答弁】雰囲気づくりと歓迎するための各種の施策を講じ、観光地としての知名度向上とイメージアップを図れるよう取り組みたい。

【長澤（仮称）カワセミ水族館運営は。

【答弁】緑の村の淡水魚館等の指定管理者となる公益財団法人ふくしま海洋科学館は、県内及び猪苗代湖の環境保全をテーマに総合的な施設運営を図り、参加体験型展示を通じて教育普及活動を行う予定である。

【長澤】職員の採用と人員配置は。

【答弁】正職員は財団が配置し、地元からは2、3名の雇用を検討しているようである。



おばあちゃん元気！デイサービス

本町の子育て支援はどのように変わるのか

【答弁】新制度では施設利用を希望する保護者の方々に、利用のための認定を受けていただき、その後それぞれの施設に申し込んでいただく。

4月から町内の全幼稚園において、満3歳からの3年保育の幼児教育を実施し、猪苗代保育所では、満3歳未満の児童の保育に限定し受け入れ定員を増やす。

【五十嵐】待機児童は解消されるのか。

【答弁】受け入れ人数を前年度より約2倍に増やすことにより、待機児童は解消される見込み。

【五十嵐】保育料は負担増にならないのか。

【答弁】施設利用の保育料は支援新制度に基づき保護者の所得に応じた応能負担が基本となる。その金額については現行の保育料と同額程度を予定している。



幼児教育を受けるこども達

【五十嵐】こども園に関しての、今後の取り組みは。

【答弁】幼稚園・こども園の預かり保育については、猪苗代幼稚園及び千里幼稚園においては従来どおり行い、こども園では、子ども子育て支援新制度により認定された満3歳以上の園児で、従来の幼稚園教育にあたる教育時間のほかに午前7時30分から8時30分と、午後2時から6時までの間において、保育標準時間及び保育短時間の保育を行う。

営業損害賠償打ち切りの今後は

【五十嵐】国と東京電力は、商工業者等の営業損害賠償について来年2月で打ち切り方針（素案）を示した。本町の営業損害賠償の実態は。

【答弁】平成27年1月末まで支払件数累計は2002件。支払金額合計は約99億5700万円となっている。

【五十嵐】観光客の入込数は。

【答弁】平成25年が177万4067人。平成26年が169万9331人であり、前年対比95・79%。震災以前の平成22年と比較すると、88・13%となっている。

【五十嵐】営業損害賠償打ち切りについて町の考えは。

【答弁】平成28年2月をもって賠償を終了するとの素案が示されたと同っている。しかし、3月3日には素案の見直しを発表したと新聞報道がなされ情報の収集に努めている。引き続き必要であると認識しており、原因者である東京電力株式会社は誠意をもって対応すべき問題であると考えている。





関沢 和人 議員

Q. 地方版総合戦略の策定の状況は  
A. 実施に向け検討委員会の立ちあげを検討している

振興策についての考えは

【関沢】人口減少問題の対策をどのように考えているか、地方版総合戦略の策定の状況は。

【答弁】人口の減少で地域が活性化を失うなどの歯止めへの早めの対応をしていく。その上で地方版総合戦略の実施に向け検討委員会の立ちあげを検討している。

【関沢】地方創生、人口減少に関する予算は平成26年度・新年度予算に反映されているか。

【答弁】平成26年度予算には盛り込まれていないが、平成27年度予算には検討会の経費について計上している。

間接的には、道の駅、子ども園も地域活性化や子育て支援に資する事業である。

【関沢】どのような道の駅を考えているのか、設置で町内の関連業が疲弊しないような対策は。

【答弁】基本理念は「ひと、もの、情報をつなぎ、会津・猪苗代を元気にする」。基本方針は自然を楽しみ会津の玄関口としての情報を発信する道の駅とする。



望まれる、駅前整備

商工会・J・A・金融機関に参加いただき、民業圧迫をしないように検討委員会を幾度か開いてきた。

【関沢】道の駅の指定管理先と、投入資金関連は収益があげれば町へ戻すつもりなのか。

【答弁】指定管理先は（株）道の駅猪苗代が妥当と考える。資金的には現状を踏まえて決定するが、検討の段階である。

【関沢】振興公社と（株）まちづくりを合併した新体制をつくる考えはないか。

【答弁】今後の経営内容や収支状況を見ながら、経営安定化や事業のすみ分けなどにより、整理統合を検討する必要があると思っている。

駅前整備計画は

【関沢】駅前整備計画に対しての具体的な計画及び、検討委員会の設置目的と内容は。

【答弁】老朽化した消雪設備と駅構内のロータリーの安全な通行のため5ヶ年の計画を予定している。

検討委員会は駅前活性化と秩序ある土地利用を図ることを目的に立ち上げた。

【関沢】コンサルタントと委託契約をしているが効果はあるのか。また、事前に地元の住民や商店の方とは話し合いは持ったのか。

【答弁】経験の無い職員だけでは難しい部分もあるのでお願いをしている。直接的なアンケート調査やワークショップの開催、交通状況の把握などから検討委員会へ意見書が提出される。地元の方々からは今まで3回のワークショップの開催に参加していただいてご意見を聞いている。

【関沢】旧会津バスの跡地利用計画は。

【答弁】駅前広場の改修後、どうするか現在検討している。

原発事故の補償は

【渡辺】補償打ち切りの予告はあったか。

【答弁】町に打ち切りの予告は頂いていない。

【渡辺】平成24年度請求分以降入金がないが、合意にいたる見込みは。

【答弁】補償相談センターと東電本部との解釈の違いがある。時間がかかると考える。

【渡辺】補償が打ち切られた場合、企業の救済は考えているか。

【答弁】商工業者等に対する救済策は今後の検討課題であると捉えている。

歩いて暮らせるまちづくりの推進は

【渡辺】新町地区の観光を推進する時期ではないか。

【答弁】「はじまりの美術館」がオープンし、「猪苗代のギャラリー」が県建築文化賞の正賞を受賞され、基本目標の一つに「文化の香り高いまちづくり」を掲げており、他の地域と連携し具体的な検討をしていきたい。



県建築文化賞正賞の蔵

【渡辺】旧役場・旧々役場の利用計画は。

【答弁】旧々役場跡地は避難所を兼ねたポケットパークの設置を検討している。

【渡辺】亀ヶ城址と合わせ観光ルート策定の考えは。

【答弁】街中を巡るツアーを商品化できないか今後検討していきたい。

防犯カメラ設置の考えは

【渡辺】防犯カメラの設置の検討はされたのか。

【答弁】旧衛生センター以外は検討していない。

【渡辺】設置を依頼されたことはあるか。

職員の業務上の義務違反等に関する規則は

【答弁】警察署から駐輪場やカメラリナー駐車場に設置申し入れがあった。

【渡辺】設置に至らなかった理由は。

【答弁】県に条例がないこととプライバシー保護のため。

【答弁】町職員規程により、所属長は書類を添えて町長に報告しなければならない。

【渡辺】義務違反の記録保存は。

【答弁】総務課で、文書管理規程に基づき永年保存している。

【渡辺】発生した内容は職員全員に告知されるのか。

【答弁】課長会議を通して各課長から所属職員に周知している。

【渡辺】原因の追求と再発防止策は。

【答弁】所属長が経過、原因等を詳しく調査し、再発防止策としてチェックの強化に努めている。

【渡辺】義務違反の場合の損失額は算出されているか。

【答弁】公用車の自損事故以外は算出していない。

渡辺 真一郎 議員

Q. 原発補償の未入金額は  
A. 約1億2100万円となっている







金本 久美子 議員

Q. 米価下落対策の今後の見通しは  
A. 「売れる米の産地」として取り組む

平成27年度の農業政策は

【金本】米価下落対策の追加処置は。

【答弁】国として「収入減少影響緩和交付金」ナラシ対策が、「収入減少影響緩和対策交付金」が今後交付される予定。認定農業者等を対象に「稲作農業の体質強化緊急対策事業」の申込み受付申請及び交付事務を進めている。県の支援策は水稲種子の3分の1の助成をするという。

【金本】県の種子購入補助の更なる町補助等、農協の「農家特別支援資金」の利子補給等、町で再検討する見込みは。

【答弁】10アール当たり800円の支援は27年度産の再生産への一部としてご支援をした。利子補給については県で農業者の負担を軽減する支援があるため、町で検討はしなかった。

【金本】猪苗代町の主要生産米の推奨と宣伝は。

【答弁】米のブランド化推進事業で、福島県奨励品種「天のつぶ」を「い

なわしろ天のつぶ」としてブランド化を図っている。また本町の主力品種であり、既に高い評価をえている「いなわしろひとめぼれ」についてもオリジナルのロゴやポスター、更にはキャラクター等を作成し、「いなわしろ天のつぶ」とともに推奨している。

【金本】猪苗代町の大半の農家が特Aランクのひとめぼれを生産しているなか、宣伝等が天のつぶに固執しているのでは。

【答弁】町が勧めているのはブランド化の事業である。ひとめぼれについては宮城のイメージが強い。本町のイメージをあげていく地域ブランドとして天のつぶを推奨し、おいしい天のつぶを消費者に提供していく。



お米のイメージキャラクター「バンディーズ」

【金本】人・農地プランの進捗状況は。  
【答弁】現在8地区でプランを作成した。  
【金本】人・農地プランについて、集落地区単位、ほ場整備地区等様々な形態での推進を提案することは。  
【答弁】プラン策定単位は集落単位だが実情にあった内容でプランを作成することが現実に近いと思う。

道の駅整備事業の地域振興施設の具体策は

【金本】建設にあたり中に入る施設、直売所、レストランの形態等、また駅長を公募するとか、様々な要望を取り入れ、今後の運営を含めた協議に参画していく方がよいのでは。

【答弁】レストラン、直売所、休憩施設、トイレの配置については基本計画を踏襲している。(株)道の駅いなわしろとの協議も含めて行っている。

【金本】道の駅に託される町民の要望、思いはどこですくいあげるのか。

【答弁】皆様からのご意見については運営会社につないでいく。



改修された猪苗代幼稚園玄関

国の学校統廃合に関する指針見直しにより本町の小中学校の統廃合に影響はないか

【答弁】小学校で6学級以下、中学校で3学級以下については、速やかに検討する必要があるとしている。猪苗代小学校を除く全小学校、中学校は吾妻中学校が当てはまる。教育施設適正配置等推進委員会ですでに検討に入っている。

この度の文部科学省の細部にわたる指針も十分に参考にし、取組みたい。

【佐藤】本町で計画している適正化の問題に変更の部分はないということか。

【答弁】おただしのとおり。



佐藤 英一郎 議員

Q. 町民の声に対する対応は  
A. 常に町民の目線に立った対応を心がけている

町民の声に対するマニュアルがあり、対応、対処がなされているか

【答弁】接遇研修を毎年行っている。問い合わせにより担当者一人で判断を下せない場合もあるので係長や課長も含め対応している。プライバシーもあるので事務室内、相談室において対応させていただく場合もある。

担当者不在の場合は、あらためて担当者から連絡するなどの対応を心がけており、常に町民の目線に立った対応を心がけている。

【佐藤】町民の声について、町全体で共有できないとそれらの声が活かされないのでは。

【答弁】アンケート、意見箱で意見をいただいた場合には課長会議の中でコピーを配布し、課長が職員に配り周知している。

【佐藤】猪苗代幼稚園玄関倒壊事故について、事故前に保護者から屋根の雪下ろし等の声が幼稚園、教育委員会、こども課に届いていたか。

【答弁】皆様に心配とご迷惑をおかけしましたこと心よりお詫び申し上げ、このような事故が二度とおきないように努めます。  
事故前に保護者からの声が届いていたのか確認したところ届いていなかったとのこと。事故後には一人の保護者より「保護者が雪下ろしをすればよかった」との声を頂いた。

【佐藤】玄関の補修について今回の補修以外は考えられなかったのか。

【答弁】復旧工事については冬期間であり、早急に復旧することが大前提で、短期の工事を目指した。

【佐藤】通園、退所時に園児が集中する。加えて3歳児からの対応も行う。玄関はあるべき施設の一つであるが、教育長の考えは。

【答弁】意見・要望等を参考にしながら検討していきたい。

【佐藤】町長の考えは。

【答弁】保護者の方のご要望があるので担当課と早急に検討しながら新学期には間に合うような対応をしていきたい。





渡部 博幸 議員

Q. スポーツ合宿の誘致について  
A. 3町村で磐梯山、猪苗代湖合宿の郷を創る協議会を設立

スポーツ合宿の誘致は

【渡部】昨年の運動公園の入込み状況は。

【答弁】4月から11月の全施設の利用人数は、2万5123人。そのうち、合宿で利用した人数は、6008人。合宿の団体数は39団体で実人数は1262人。陸上競技場や野球場等の利用者が多い。

施設の有効利用を促進するため、合宿による施設利用は欠かせない。首都圏からの交通の便も良く、宿泊施設も整っており利便性をアピールし、スポーツ合宿の誘致につなげたい。

【渡部】合宿の郷づくりの取り組みは。

【答弁】平成25年度に猪苗代町、磐梯町、北塩原村の3町村で会津磐梯山、猪苗代湖合宿の郷を創る協議会を設立。磐梯山周辺エリアのネーミング募集、パンフレット及びパネル、PR用DVDを作成。平成26年度は、日帰りや1泊2日のモニターツアーなど実施し、地域内事業者への懇談会を開催。

さらに平成27年2月19日から21日に開催された東京マラソンEX

PO2015へ出展し、磐梯山周辺の合宿の郷として、また3町村の観光PRを実施した。



全天候型陸上競技場

【渡部】運動公園の今後の整備計画は。

【答弁】給水管の布設替え工事と陸上競技場の一部芝生化を予定。実施時期は未定だが、A面野球場のバックネットの改修、D面多目的グラウンドのベンチの新設を計画。

【渡部】トイレについて整備の声がでているが堤防の西側に利用しやすいトイレを作る考えはないのか。

【答弁】平成24年度には循環型のトイレを設置。河川区域であり仮設などの規定がある。簡易トイレが4基あるが簡易水洗化も含めて検討は

雪害、除雪対策について

【渡部】除雪オペレーターにどのような指導をしているのか。

【答弁】除雪体制は直営と民間委託に分かれており、除雪事業実施要領を作成し指導を行っている。町民の皆様から多くの意見を受けており、担当職員、除雪オペレーター等が現場で対応している。

道路の通行を優先するため、雪の塊等が道路に残る場合があるが、町民の皆様のご理解とご協力をお願いしている。

【渡部】除雪の雪が家の前によせられると怒りを感じている方もいるが丁寧な除雪の対応は。

【答弁】高齢者世帯においては、雪の塊があると大変な作業が発生することとは重々承知しているが、特に大雪の場合道路の通行を優先的に確保するようにしている。

産業の活性化は

【後藤】人口構成の変化や減少に伴う産業業績の変化をどのように分析したのか。

【答弁】平成28年度中には「道の駅」が開館されることから、農業と商業、観光業が連携した6次化商品の開発などを推進していき、地方創生の地方版総合戦略に取り入れ「まち・ひと・しごと」を各組織・団体と連携を図りながら、特色ある町独自の施策を展開していく。

【後藤】観光客の方に何を求められているのかの調査、把握が大事では。

【答弁】教育旅行の回復に重点をおき、新年度については、それらの予算を重点的に拡充している。

【後藤】震災の賠償金に依存する事なく風評被害を払拭し、経済を活性化するために求められるのはどのような対策か。

【答弁】基本的には営業活動の部分であるので、それら全てを町が支援するということとは不可能に近い。

【後藤】国・県と連携ができる施策等は。

【答弁】国は地方創生に絡めて、交付金を全国市町村に配分する。町も内示を受けている。それらを活用し、

景気浮揚策をとる。

【後藤】企業誘致や若者の定住化について、それらの進展は。

【答弁】ホームページに、企業立地における優遇措置などを掲載し、企業誘致に繋がるよう取り組んでいる。

【後藤】ベッドタウンの魅力、若者定住化への取り組み状況は。

【答弁】平成22年から定住促進住宅を整備し促進に努め、「新規学卒者等就職支援奨励金制度」を設け、町内既存企業に雇用の拡大をお願いしている。

生活困窮者支援をどう進めるのか

【後藤】町内の生活困窮者の人数は。

【答弁】グレイゾーンの方もおり把握は難しい。

【後藤】どのような支援ができるのか。

【答弁】今後は、県が設置する「自立相談支援機構」が対応する。一つは、一時生活支援事業。住居のない生



除雪支援事業の状況

活困窮者に対し、一定期間宿泊場所、衣食の提供を行う。もう一つは家計相談支援事業。

【後藤】生活保護や高齢者世帯、一人暮らしや障がい者世帯等への生活支援は十分に実行されているか。

【答弁】冬期間の生活支援として「除雪支援事業」を実施。また、高齢者サロン事業、介護予防運動教室を実施している。さらに「認知症サポート・養老講座」を開催し、支援して頂ける方々を養成している。

【後藤】生活困窮者への安全・安心な生活は確保されているか。

【答弁】まずは、避難行動の要支援者名簿作成を全力あげてすすめたい。





佐瀬 真 議員

Q. 道の駅よりも中学校建てかえが先では  
A. 経済波及効果を優先させていただく

道の駅計画の問題は

【佐瀬】火山防災などの拠点としての機能を備えるという考えから、今回の重点「道の駅」に選定されたものと思うが、想定の際、磐梯山が噴火した時に機能を果たすのか。

【答弁】冬期間の噴火による融雪泥流の被害も想定して今回の場所を選定した。また、防災ヘリポートの整備や防災倉庫の設置などの機能も併せ持つ施設としている。

【佐瀬】防災ヘリポートの除雪は防災機能上24時間行うのか。または融雪設備を付けるのか。

【答弁】24時間対応の防災ヘリを想定している。降雪時には除雪の必要がある。駐車場を含め融雪の設備の設置は考えていない。

【佐瀬】豪雪の際の待避スペースも構想に掲げているが、融雪設備が無い状況で除雪オペレーターも出られない状況下で機能するのか。

【答弁】役場保有の除雪車を道の駅に配置して周辺の道路も含めて、除雪運行業務を「(株)道の駅」に委託する構想で考えている。

【佐瀬】レストランの経営をする方が決まっていない現状で、水回りなど、使う側の意見を聞いてから図面を書くのが当たり前だが、今の段階で建物を作る設計図が出ているのは問題ではないか。

【答弁】設計段階から調理人の意見を取り入れるのが理想だが、「(株)道の駅」と協議して決めている。

【佐瀬】予定より開業が遅れていることで、「(株)道の駅」への出資金の温存のため、現会社員を町の職員として税金で給料を払う案があるというが、聞いているが。

【答弁】それも含めて考えなければいけない段階に来ていると思っている。



これで良いのか、道の駅猪苗代計画

教育にかける方針は

【佐瀬】老朽化の猪苗代中学校の建て替えが急務の状況だが、どのような計画になっているのか。

【答弁】適正配置委員会の提言では、平成31年度の統合を目指すこととなっているが、最短期でも平成33年度になると思われる。

【佐瀬】2年遅れることの要因は。

【答弁】財政計画上も町では大型事業に取り組んでいることから、伸びることになる。

【佐瀬】計画上、中学校統合を遅らせる影響で、小学校統合前の複式学級対策も伸びるのか。

【答弁】統合前にそのような学級が出た場合、教務や教頭が担当するか、新しい教員をお願いするなどの対策を講じる。

【佐瀬】財政上厳しい町政において、道の駅を建設するよりも子ども達を優先すべきではないのか。

※「町教育施設適正配置等推進委員会」：町議会議員や幼稚園、小、中学校のPTA、区長会などで組織し、小中学校の統合・再編について検討を重ね平成25年3月に町長に教育施設適正配置等に関する提言書を提出。



細貝 功人 議員

Q. 年末・年始等の窓口オープンは  
A. 協議の結果、実施しない方向である

新しい教育委員会制度の改革は

【細貝】平成27年度からスタートするがその目的とは。

【答弁】目的は、教育委員会の活性化。二つ目に、町教育全体の計画を網羅した「教育大綱」を定めること。

三つ目に「総合教育会議」を必要に応じて招集し、「総がかり」で対処できるようにした。

【細貝】総合教育会議はどのような会議なのか。また、構成員は。

【答弁】教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育。児童・生徒等の生命又は、身体に現に被害が生じ又は、生ずる恐れがあると見込まれる場合等の緊急の構すべき措置について協議と規定してある。構成委員は、地方公共団体の長、教育長、教育委員。

【細貝】会議は公開か、非公開か。事務局はどこに。

【答弁】公開を原則としているが、個人情報等の絡みがある場合には、非公開とすることができる。事務局は教育総務課を想定している。

【細貝】教育大綱はいつ作成されるのか。

【答弁】今準備をすすめている。教育委員会が毎年作成している年度の教育目標、重点目標で三つの課にわたった計画があり、それを含めた教育大綱としたい。

【細貝】年末、年始等の窓口オープンについての協議の進捗は。

【答弁】夜間窓口業務は、定着した火曜日は、変更せずに、実施日を第二、第四週の火曜日に変更する方向で調整している。「年末・年始の夜間窓口業務」は協議の結果、実施しない方向である。

【細貝】ご意見箱について、無記名でなく記名投書とすることへの検討は。

【答弁】本来の目的である町長が広く町民のご意見をいただくという主旨からすると、意見が少なくなることも危惧されるので無記名のまま続けていきたい。

【細貝】広報652号に寄せられたご意見「猪苗代駅前駐輪場を毎朝除雪してほしい」の回答が、毎朝の除雪対応は厳しい状況であり、ご理解…とあるが、その後の対応は。



駅前駐輪場の現況

【細貝】子ども・子育て支援新制度の目的は。

【答弁】すべての子どもに良質な保育環境を保障し、健やかに成長することができる社会の実現を目的に取り組みを進めると国は示している。





佐藤 悦夫 議員

Q. 設計ミスを招いた原因と未然に防げなかった要因は

A. 受領の際に詳細に確認できなかったことが原因

〔仮称〕川西認定こども園を問う

〔佐藤〕設計ミスを見抜けなかったのか。

〔答弁〕実施設計を委託した共同企業体が構造計算・実施設計を専門の構造設計事務所に依頼し、設計をまとめたものを鵜呑みにし見抜けなかったことがミスの要因でもある。

〔佐藤〕見逃したのは力不足が要因では。

〔答弁〕実績のある一級建築士事務所の「設計に問題はない」とのことを信用し、受領の際に詳細に確認できなかったことが要因である。

〔佐藤〕地盤の調査ボーリングは何本で、地質のデータに不備はないのか。

〔答弁〕ボーリングは5箇所で、敷地全体の地層を想定しておりデータに不備はない。

〔佐藤〕工事が止まり、遅れたことの損失と、損失についての請求を受けることは想定しているのか。

〔答弁〕施行業者からはまだ具体的にはできていない。損失の補償は調停を行う審査機関等との協議や、建築の共同事業体にも意見をいただき調整していきたい。

〔佐藤〕町民に迷惑をかけたことへのペナルティは。

〔答弁〕実施設計を担当した設計共同企業体に対しても厳正に対処する。教育委員会から顚末書があがれば、それを包括しペナルティを受ける。

〔仮称〕猪苗代道の駅事業は

〔佐藤〕予定では平成27年4月がオープンであったが、農産物の付加価値と6次産業化は完結しているのか。

〔答弁〕農産物を素材とした製品の開発展開中でのくらい進んでいるか問われてくるが引き続き展開をしていく。

〔佐藤〕火山防災の考え方は。

〔答弁〕重点道の駅選定の際に磐梯山ハザードマップを添付した。今後、道の駅を総合防災拠点とし猪苗代地域防災計画に組み入れる予定。

〔佐藤〕積雪障害時の非難は現実的ではないのでは。

〔答弁〕除雪車も配置し、防災施設の二次拠点としての活用を考えている。

〔佐藤〕平成27年4月の開業は不可能となりDCには間に合わないが完成時期はいつか。またテーマは。

〔答弁〕平成28年11月オープンを目指している。特にテーマはない。

〔佐藤〕総事業費と財源の内訳は。

〔答弁〕変更もあるが総事業費は約20億円。財源内訳は国庫補助金4億円、県支出金4500万円、地方債6億9850万円、一般財源8億5650万円である。

図書歴史情報館の利用状況は

〔答弁〕今年1月現在で2万5630人の利用。利用貸出人数1万1179人。一日平均約100人、貸出冊数3万1695冊。

〔佐藤〕当初5万冊蔵書は達成したのか。

〔答弁〕現時点では約2万9000冊である。



猪苗代町図書歴史情報館（和みいな）

不能欠損処理の状況

り適正な執行が求められることから、時効による不能欠損処分を出さないためにも、徹底した租税債権の管理体制を図って継続しなければならない。収納率も大切であるが、率に執着してしまうと納税者との信頼関係を崩してしまうおそれがあり、滞納者の実情に真摯に耳を傾け、適正な業務執行を進めている。

意見

県外に分譲地所有者から固定資産税や分譲地管理費の支払いが大変なので、土地を処分したいという要望が多い。分譲地の売却は無償であっても難しい。町が公売して経費及び手数料を取ることはできないか。そうすれば滞納が減らせるのではないか。

今後の農業政策

豆腐、こんにゃく作り教室等の開催も予定している。

意見

「いなわしろ天のつぶ」は今後町独自の栽培マニュアルの研究が求められる。「いなわしろ天の香」の生産については、減反政策の見直しなどで安定的な生産ができるのか、先を見据えた対応が必要である。町の土壌は地域差があり、長期プランを立てて適地適作の作物を取り入れて栽培すべき。道の駅開業に併せ、アグリいなを活用しエゴマ栽培での油採取や「いなわしろ天の香」を原料とした加工品試作など、早急にブランド化できる商品の開発を進めるべきである。

障がい者施策の現状

るように、さらなる充実した施策を望む。特に子育て支援の観点からも、障がいを心配する若い両親の相談、支援をする必要がある。

本町にも児童発達支援事業や、放課後等デイサービスや相談支援所の事業所が望まれる。



障がい者施策の現状を学ぶ

# 委員会レポート

## 総務常任委員会

不能欠損処理とは、租税債権が弁済等以外の理由により消滅したとき、及び法律上または事実上、徴収が不能又は著しく困難であると認められるとき、規定により不能欠損金として徴収簿及び滞納繰越簿を整理することである。

近年の景気の動向から毎年不能欠損処理しているが、滞納の解消には至っていない状況である。租税債権を確実に確保することは、納税の公平はもとより、自主財源の確保を図る上で非常に重要である。平成25年度の収納率は96.04％で、平成22年度の91.40％から比べると若干向上している。不能欠損額では固定資産税が全体の90％以上を占めている。必要な不能欠損処分を行わないと徴税の権利が消滅し、租税債権が決算書において収入未済額として過大に計上され、決算が不適切になる。不能欠損処分はよ

## 経済建設常任委員会

農産物風評被害の対策として、検査の実施のほか、首都圏等での物産展・新そばまつり等の開催や米・そばのブランド化を推進し風評被害の払拭に繋げたい。ブランド化推進事業は推進委員会に米・そば・健康の3部門の部会を設置し、具体的な内容を検討している。昨年12月から学校給食でも週3回天のつぶの米飯給食を実施し、今後は米粉パンの導入も検討している。そばのブランドである「いなわしろ天の香」、今後は栽培マニュアルの策定や高品質化、認定生産者・提供者の登録制度やオリジナルロゴマーク・ホームページなどを作成し、新そばまつりでPRしていく。農産物の6次化への取組みや道の駅での販売については、民間事業者と連携し、凍みもちやあめ・ジャム・そば菓子や焼酎・餃子などをPRし、さらに米粉パンの開発やアグリいなでのエゴマ栽培や加工品試作、

## 文教厚生常任委員会

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をもとに各種支援を受けている。支援の内容、相談所などを詳細に記載した「障がい者福祉の手引き」を保健福祉課が発行している。身体者障害者扶助費等の支出の総額は、平成25年度決算額で218,054,961円となっており、サービス体系が定着し年々増加の傾向にある。児童福祉法に基づくサービスとして、未就学児の児童発達支援、小学生～18歳の放課後等デイサービス、相談支援所の利用などがある。本町には事業所がなく、会津若松市内にある事業所の利用がほとんどである。町の福祉計画は平成26年度が最終年度で、現在新たな計画を策定している。

意見

現在、障がい者にはかなりの支援事業があるが、障がい者が地域社会や家庭において自立して生活を送れ

# 町民の声



千里地区  
柳原 律子 さん

## 地域のサロンで 輝きを

私は「この町でおばあちゃんになりたい」

本当に地域の方々に感動しています。いろいろな意見が出された後にシユツとまとまる、この安定感の居心地が良く、こういう所なら「ここで年を取るのも楽しみなあ」と思うのです。

昨年からサロン事業が町内7か所にて保健福祉課と地域包括支援センターの全面協力のもとに展開されています。おしゃべりやお茶飲み以外にも、地域性の持ち味をいかした企画で楽しいひとときを過ごしています。

私は今、八千代区のサロン「オメ、げんき会」でボランティアをしています。この会の参加者の方々はお客様ではなく主役です。楽しい事や自分の強みを持ち寄り、皆におすそ分けをするイメージです。参加対象の方は65歳以上となっていますが、若くても支える側になって寄り添う形での参加も良いですし、講師として情報提供で関わっていたくのも良いと思います。

語り合えると人は元気になりますね。日頃から近所同士で声を掛け合うことで元気が否かの小さな変化にも気づけ、優しい言葉もかけられます。その積み重ねが、いざという時に地域の底力として発揮出来まし、互いに支え合えるのだと思います。それが仲間づくりや「生きがい」に繋がっていくのでしょうか。

地域とは活躍の場でもありお互いが光輝く場になれば良いと思っています。リハールなしの人生、大切に楽しく過ごしたいですね。

## 栄えある表彰

2月25日に開催された福島県町村議会議長会定期総会において全国町村議会議長会長より在籍27年以上の町村議員として、関澤和人、穴澤進、鈴木武喜の3議員と、在籍15年以上の町村議員として渡部博幸議員が表彰されました。



## 編集後記

例年になく大雪に見舞われたこの冬もようやく終わり、暖かな春が来たことが実感できるようになりました。

3月定例議会も終了し、報告ができる運びとなりました。今議会は11人の議員による一般質問が行われ、また、最終日には、議員提出による議員定数削減（現定数16人を14人とする）議員定数条例の一部改正議案が審議され、反対多数で否決されました。さらなる議論の必要性を認識した3月定例議会となりました。

佐藤 英一郎

## 議会広報編集特別委員会

委員長	佐藤 光幸
副委員長	金本 久美子
委員	佐瀬 真
委員	細貝 功人
委員	佐藤 悦夫
委員	佐藤 英一郎
委員長	長沼 一夫

## 傍聴においで下さい

**6月議会は  
6月1日(月曜日)  
開会予定です。**

【一般質問予定日：4日(木)・5日(金)】

※質問者・質問内容については6月1日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

### 揭示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえきまるしめ